

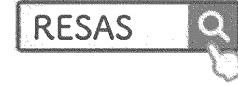
RESAS

で町内を分析しました。

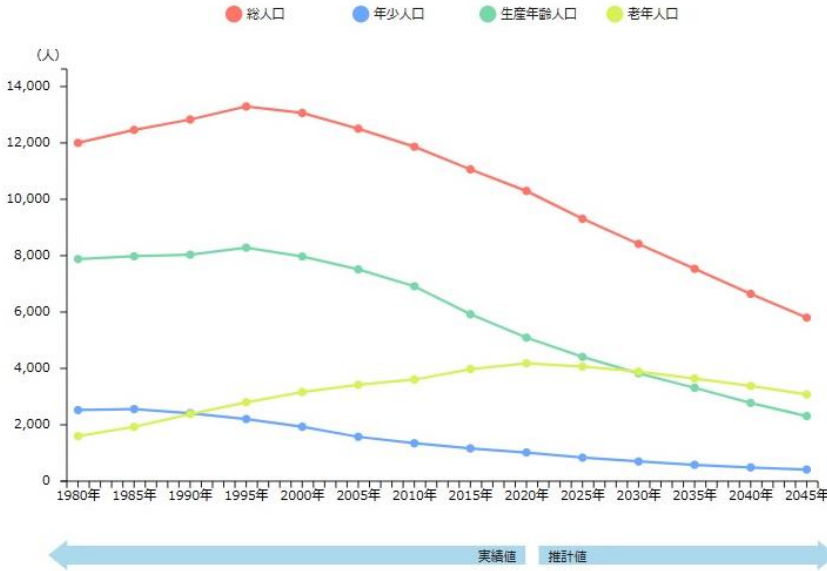
長野県
飯綱町

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かり易く「見える化（可視化）したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、是非、参考にしてみてください。

<https://resas.go.jp>



人口



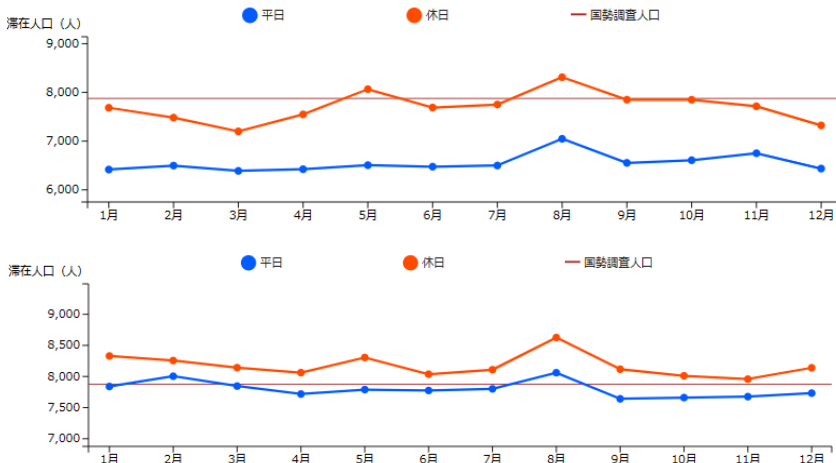
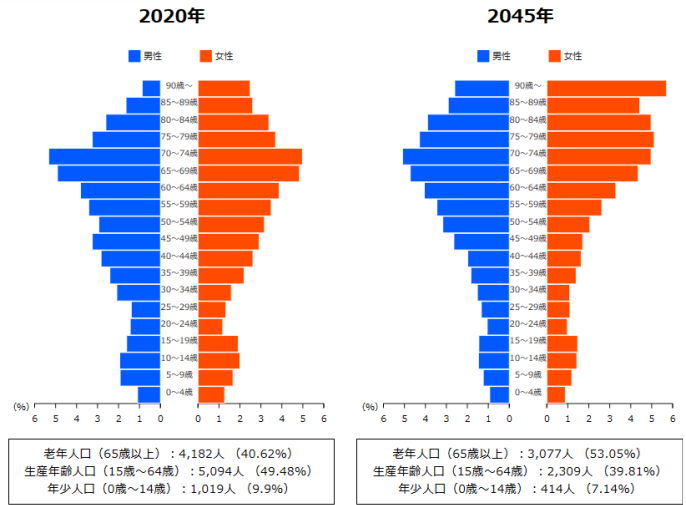
年齢別人口推移

1995年をピークに人口減少が顕著に表れている。人口年齢構成については、1990年代に年少より老年の人口が多くなり、2030年代は生産年齢より老年人口が多くなると予想される。

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15歳～64歳、老齢人口は65歳以上を示す。

人口ピラミッド

現在と四半世紀先の男女年齢別人口構成を示したグラフです。既に65～70歳が一番多く高齢化が進んでいるが、25年後はさらに高齢化が進むことが予測されている。また、女性の方が高齢人口が多いことが示されている。

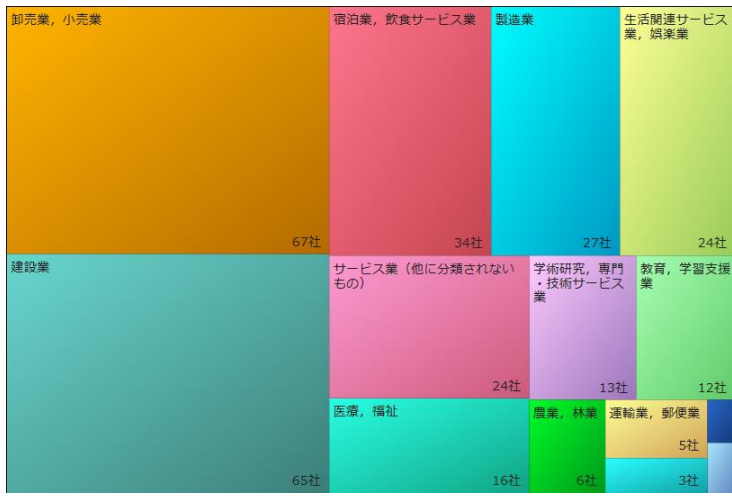


滞在人口 (2022年、上：昼間、下：夜間)

昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフです。昼間の町外に働きに出かける方が多く、夜間には地元へ帰る方が多い傾向にある。また、休日は町外からの流入が多いことから買い物、観光客等の来訪が読み取る。

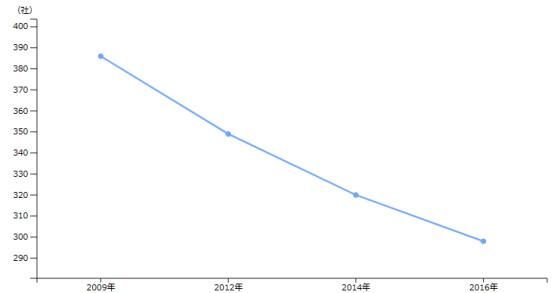
※昼間は14時、夜間は20時を示す。

産業構造



事業者数の推移

事業所数の推移をみると 386 社→349 社→320 社→298 社と減少が続いている。



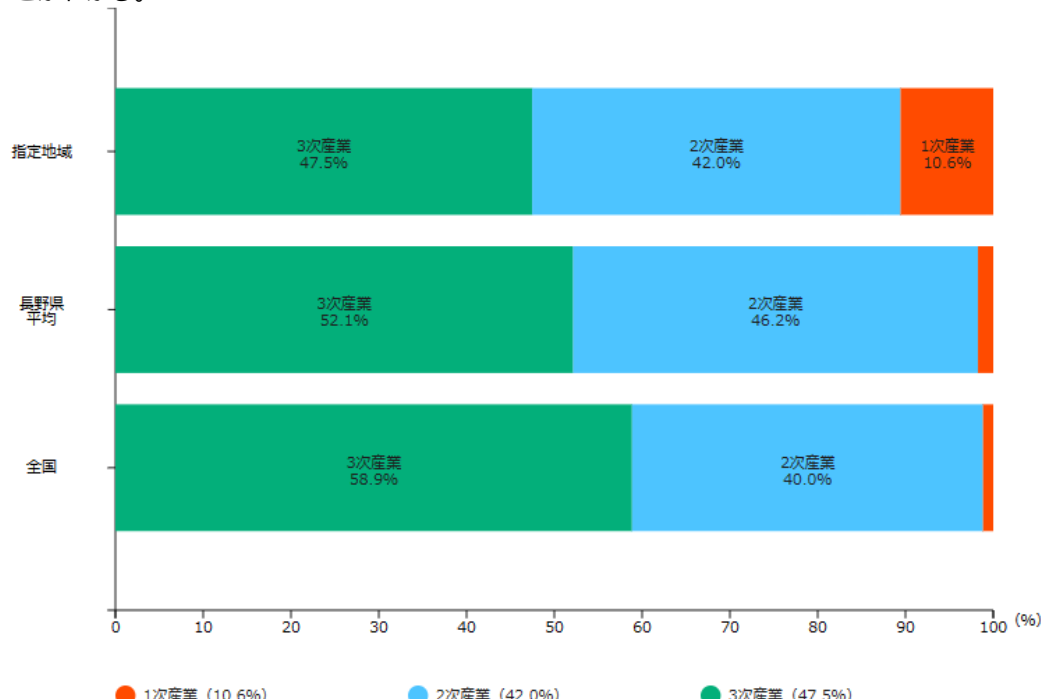
事業所数(業種ごと)大分類 (2016年)

業種ごとの事業所数を面積で示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業・小売業」であるが「建設業」も多い。



地域内産業の構成割合 (2018年)

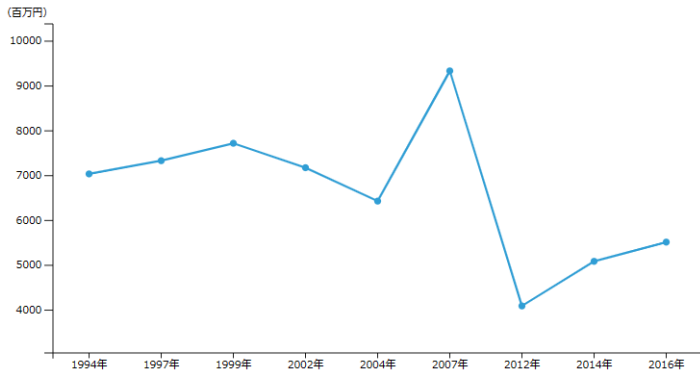
飯綱町の産業の構成割合を全国及び長野県と比較したグラフである。もっとも割合の高いのは第3次産業である。その一方で全国、県下に比べ第1次産業の割合が高いことがわかる。



事業所数順位 (2016年)

県下、及び全国の事業所数の順位を示している。県下 44 位 / 77 位中、全国では 1319 位 / 1741 位中である。

小売業・卸売業

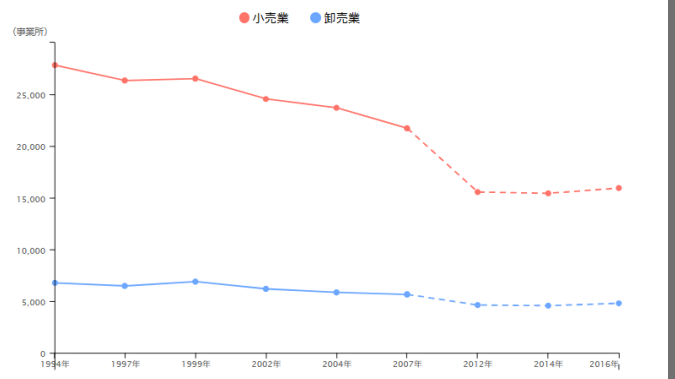


年間商品販売額の推移 (2016年)

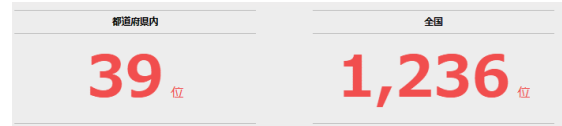
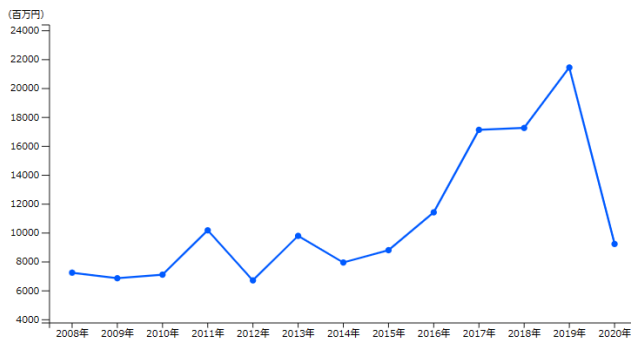
小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。飯綱町の販売額は5,518百万円。4年前の2012年の4,094百万円に比べると増加している。プレミアム商品券の再開が消費を喚起している可能性がある。

事業所数の推移 (小売業・卸売業)

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。全体的に減少傾向であるが2012年の小売業64社・卸売業12社から横ばいに推移している。



製造業

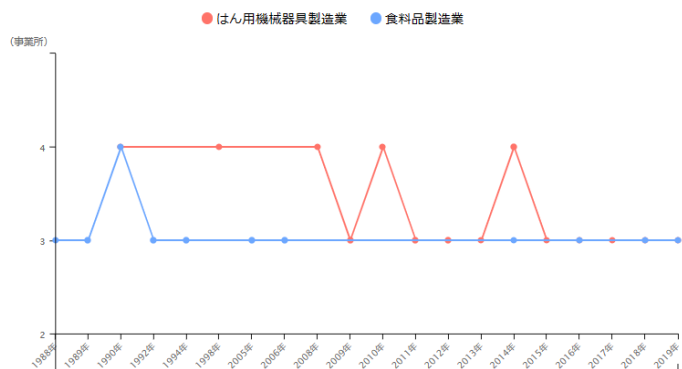


製造品出荷額の推移 (2020年)

製造業の年間出荷額の推移を示したグラフである。飯綱町の出荷額は9,243百万円。1年前の2019年の21,457百万円に比べると大幅に減少している。コロナ禍による原材料不足等の影響が大きい。

事業所数の推移 (製造業)

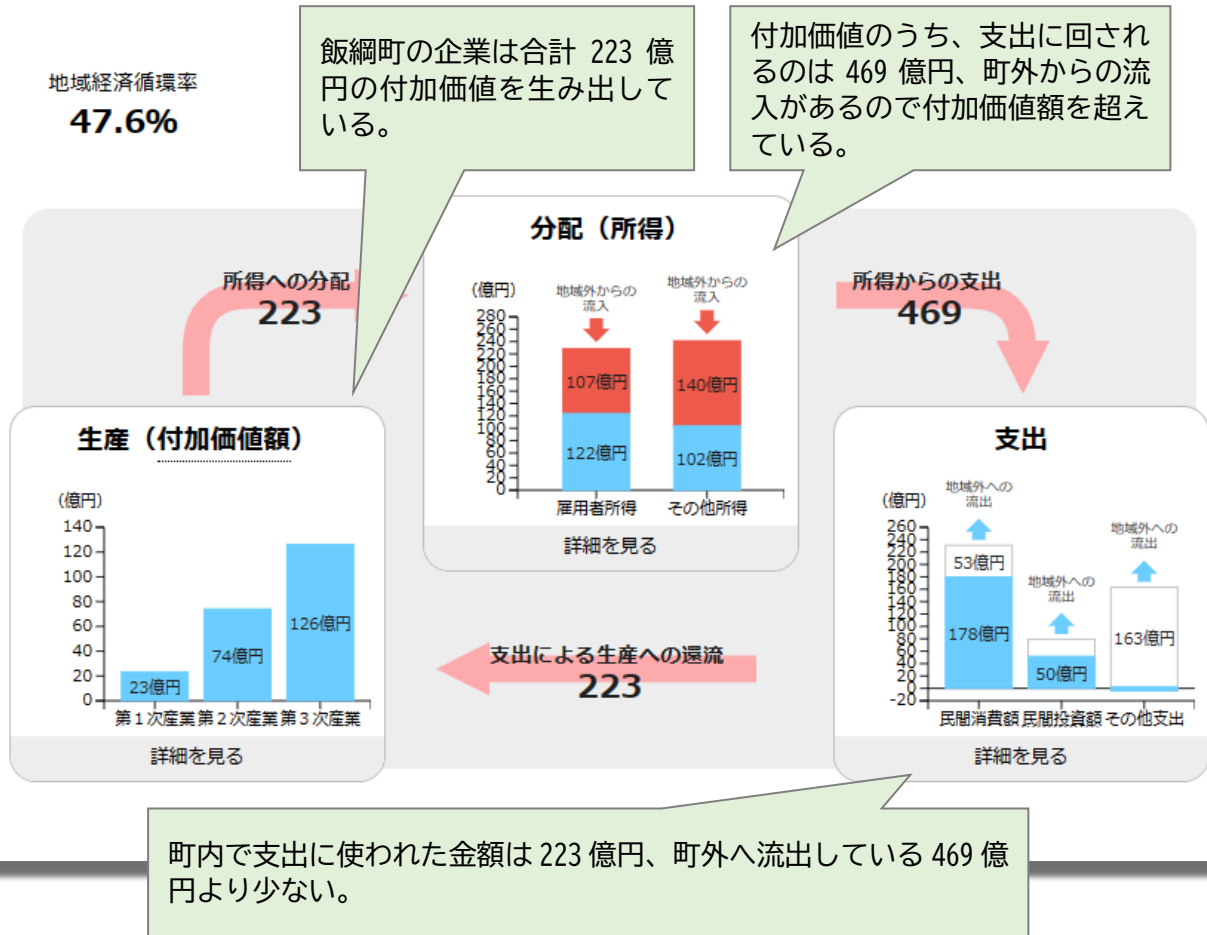
製造業の事業所数の推移を示したグラフである。飯綱町の製造業者数は少なく、10社に満たないが、全国の出荷額が1236位/1741位中と小売業より好成績となっている。



地域経済循環

地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。



生産分析 (2018年)

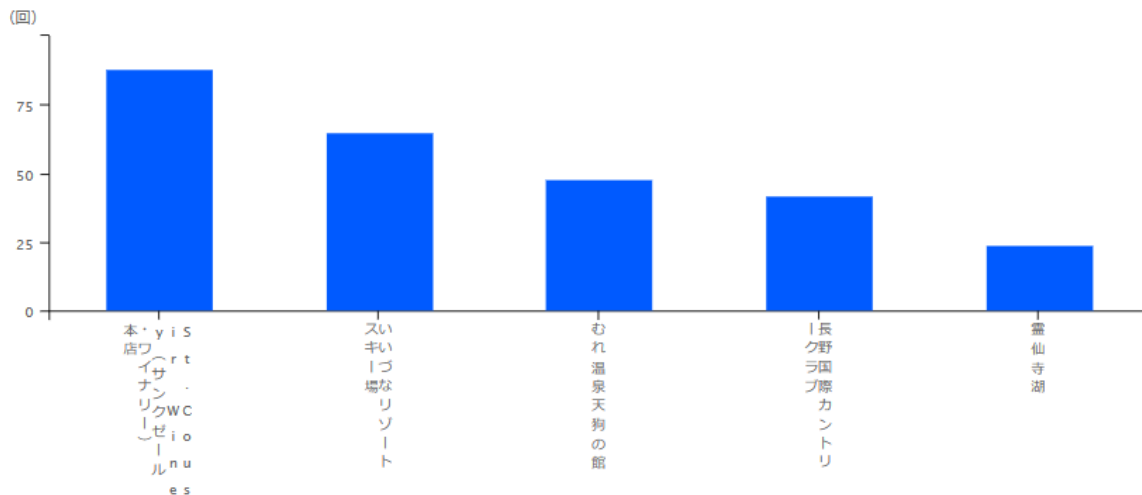
生産 (付加価値) の内訳を面積の大きさを示したグラフである。数少ない製造業が町内で多くの付加価値を生み出していることがわかる。



観光

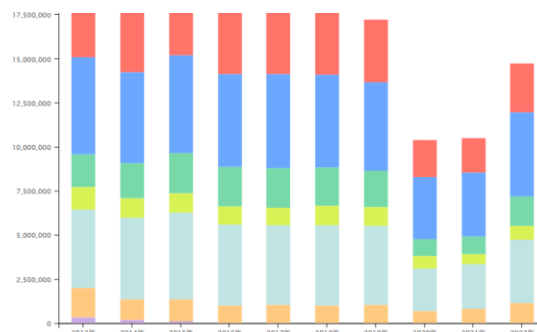
目的地別検索ランキング (2021年：交通手段 自動車)

カーナビで経路検索された回数の多い場所、上位5か所を示したグラフである。



参加形態 (長野県)

赤色が家族、青色が夫婦、緑色が女性グループ、黄色は男性グループ、薄緑色は男女グループ、オレンジ色は一人旅を示している。

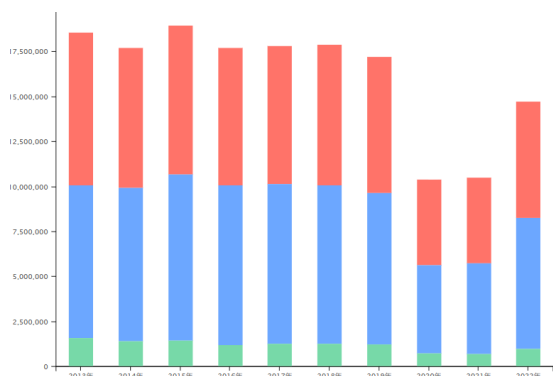


From-to 分析 (長野県)

町内の宿泊者数の集計は無いため、長野県全体の統計を掲載します。県内宿泊業の利用状況を示したグラフである。2020～2021年の大幅な減少はコロナ禍による影響が色濃く表れた結果である。

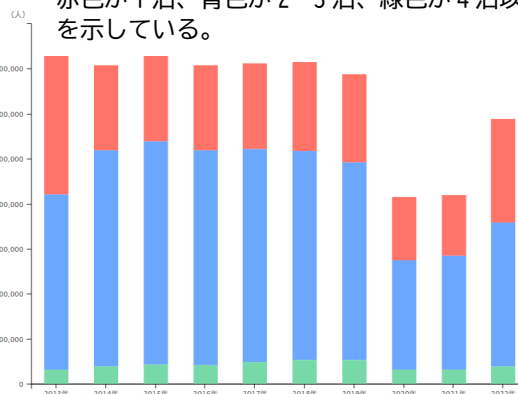
性別 (長野県)

赤色が大人男性、青色が大人女性、緑色が小人を示している。



延べ宿泊数 (長野県)

赤色が1泊、青色が2・3泊、緑色が4泊以上を示している。



V-RESAS

長野県

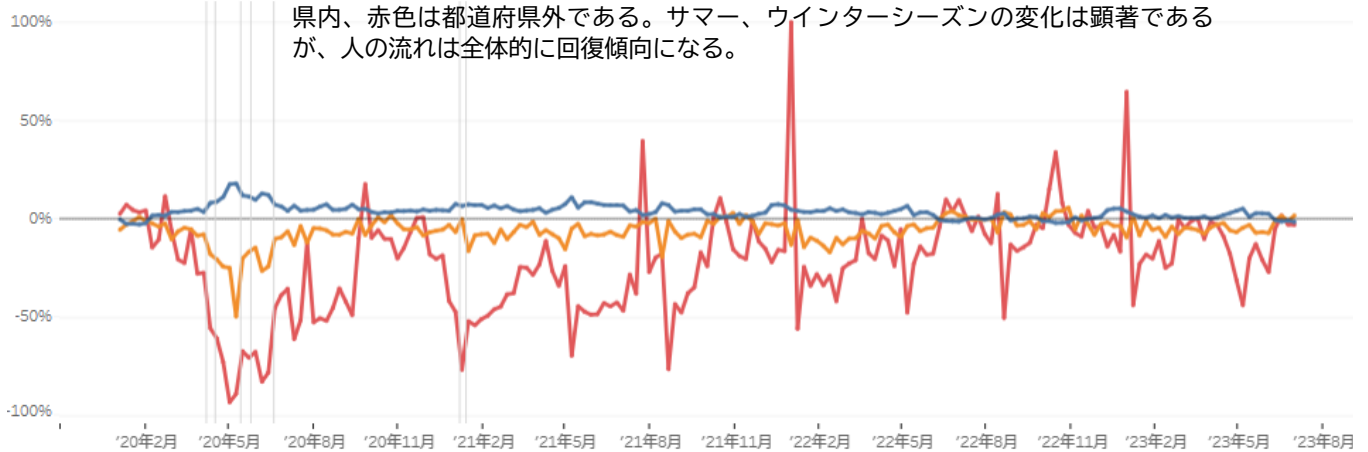
V-RESAS は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が、地域経済に与える影響の把握及び地域再活性化施策の検討におけるデータの活用を目的とした見える化を行っているサイトです。

で分析しました。

人流

長野県の推定居住地ごとの 2019 同週比 (2023 年 7 月)

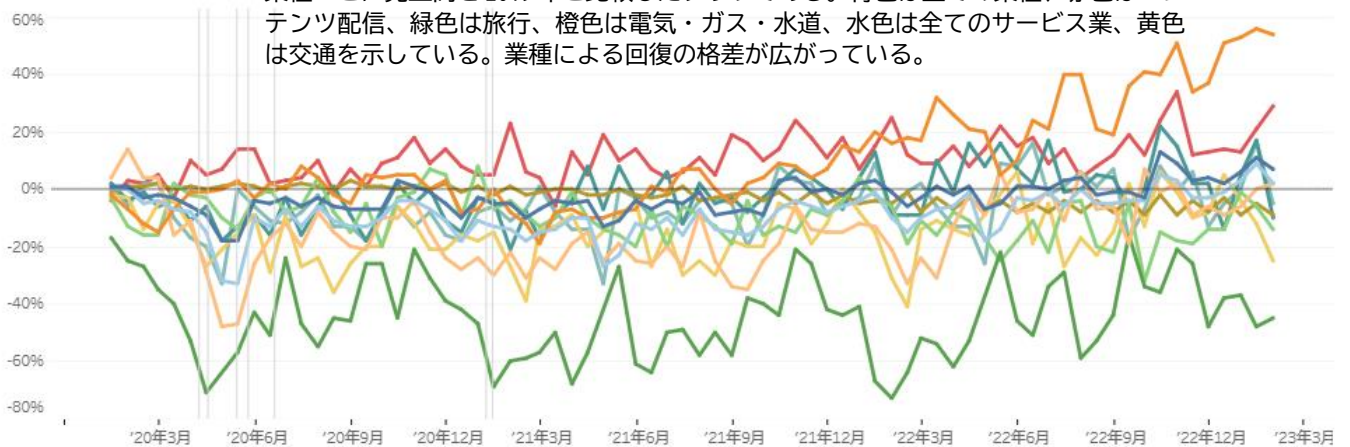
滞在地からの流入、流出を示したグラフである。青色の線が市町村内、橙色は都道府県内、赤色は都道府県外である。サマー、ウインターシーズンの変化は顕著であるが、人の流れは全体的に回復傾向になる。



消費

長野県の業種（サービス業）ごとの 2019 同週比 (2023 年 1 月)

業種ごとに売上高を 2019 年と比較したグラフである。青色は全ての業種、赤色はコンテンツ配信、緑色は旅行、橙色は電気・ガス・水道、水色は全てのサービス業、黄色は交通を示している。業種による回復の格差が広がっている。



飲食

長野県の業種（飲食業）ごとの 2019 同週比 (2023 年 1 月)

業種ごとに売上高を 2019 年と比較したグラフである。青色は全ての業種、赤色はエスニック、緑色は洋食、橙色は和食、水色は中華、黄色は肉料理、薄茶はファミレス、茶色はカフェ・スイーツを示している。全体的に悪化している。

